

本年度は、この学校経営方針・教育の重点のもと、全職員で「明日も行きたい大好き学校づくり」を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。 潮見が丘小学校 校長 大島 朗

令和2年度 潮見が丘小学校の教育

学校課題 重点目標

明日も行きたい大好きな学校

～安心できる場所があり、力を伸ばすことができる学校～

校訓 **思いやり**

あたりまえの継続が
質の高いあたりまえへ

学校教育目標

学び合い
力合わせ
つながり

しっかり学び考える
おもいきり挑戦する
みんなも自分も大切にする

明日も行きたい学校(児童)
明日も行かせたい学校(保護者)
応援したい学校(地域)
働きがいのある学校(教職員)

本校の教育目標は、昭和51年開校時から「考える子」「元気な子」「仲よい子」でしたが、今の子ども達の実態、社会の変化、学習指導要領の全面実施に伴い、また保護者の皆様からのアンケートや様々な調査結果から、R2. 4. 1改定しました。

めざす子ども像

○しっかり学び考える

- ・ 仲間と学び合い、自分の考えを高める子ども
- ・ 自ら考え、判断し、行動できる子ども

○おもいきり挑戦する

- ・ 困難なことに挑戦し、最後までやりぬく子ども
- ・ 目標やめあて、夢が持て、計画や見通しを立てられる子ども

○みんなも自分も大切にする

- ・ 自分が好き、自分に自信が持てる子ども
- ・ 仲間と協力し、支え合い、つながりを大事にする子ども

経営方針

**子ども同士がつながって
学び合える楽しい学校**

学び合いの考え方を基盤に子どもに任せる授業づくり

**教職員のつながりで
組織的な学校**

教育の質を高めるためにチーム力で働き方改革を進める

**保護者・地域と
つながり合う学校**

保護者と向き合い子どもを育てる地域コミュニティの活用

R2年度 潮見が丘小学校 教育の重点

学校づくり

- ・新学習指導要領に則した教育課程の実施・改善
- ・安心して自分達の力を発揮できる学校づくり
- ・目標を達成するために必要な教育活動の焦点化と働き方改革

学級づくり

- ・誰もが自分の考えを持てる環境づくり
- ・失敗を恐れず粘り強く挑戦できる支持的風土づくり
- ・安心して自己実現、自分の価値観の交流ができる集団づくり

授業づくり

- ・主体的・対話的で深い学びの具体化
～子ども主体の「学び合い」授業～
- ・授業UD(ユニバーサルデザイン)推進
- ・言語能力の確実な育成
- ・学力向上プラン実践化

今年度の改善・変更点は…

授業時数の確保

外国語活動の時間が増えたため、行事に費やす時間を見直さなければなりません。運動会、学芸会、卒業式などの練習時間を減らします。運動会の種目が変わります。「**学年団体種目**」は、**2種目から1種目**になります。

外国語の学習

5,6年生は〔教科〕外国語となり、時数は**70時間**です。**3,4年生**は外国語活動で**35時間**になります。潮小では、朝ファイトの時間に短時間でも実施(モジュール)しているため、標準時数より45分のコマが若干少なくなります。

全校たてわり清掃

たてわり清掃は**5月からスタート**します。「下の学年へ教える」「憧れの存在になる」「上の学年から教えられる」「全校で協力する」ことを通して、「**自己肯定感**」を向上させたいと考えています。

よくわかる潮小

どの学年でも子どもたちが戸惑わない・成長に必要な「やくそく」をまとめた「よくわかる潮小」を見直しました。今年度版を配布しますので、**1年間ご家庭で保管して確認**をお願いします。

日課表の一本化

「今日は短縮？普通？」子どもたちにとってリズムの変化は不安につながります。私たち教職員も混乱することがあります。**日課を一本化**し、短縮日課を通常日課とします。昼読書は朝ファイトの中(曜日指定)に組み込むことにします。

コロナ対応

昨年度末の臨休で学んでいない学習は、今年度の余時数や4月の学校行事の中止、長期休業の短縮で**時数を生み出して学び直します**。(特に**国・算・社・理**)今後も様々対応が続くことが予想されます。変更は随時お知らせします。